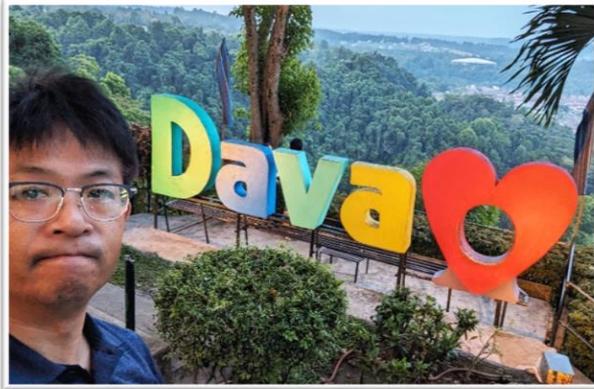




## フィリピン ミンダナオ島 視察 その1



ダバオ市レストランの撮影スポットにて



道端で販売されている特産品ドリアン

笠井研究室で取り組む雨水利用システムの海外展開可能性調査のため、2023年8月にフィリピン ミンダナオ島にあるダバオ市を訪問した。ミンダナオ島はフィリピン最南の島であり、ダバオ市人口は約150万人、面積は2400km<sup>2</sup>で世界最大の行政面積を持つ一都市であり、184のバラングイ（最小自治単位）で構成されている。基幹産業は農業である緑豊かな街であり都市部を離れると道端の木にはバナナ、マンゴー、ココナッツ等が至る所に実っている。特に有名なのがドリアンであり、8月の旬の時期には街中で山積みで販売されている。

今回の訪問は、NHK おはよう日本で放送された雨水ドリンクのニュースを現地の日本人会会長の佐藤氏が視聴されたことから NHK を通じて雨水の飲料化について打診があったことで実現した。今回の訪問を通じて、フィリピンでの雨水利用の可能性ではなく【必要性】を実感した。



左)訪問先バラングイキャプテン(中央女性)と日本人会会長佐藤氏(左から2人目) 右)日本国総領事訪問時にダバオ市の日本国総領事館前で撮影(館内撮影禁止の為)

【連絡先】 福井工業大学 まちづくりデザインセンター

Tel : 0776-29-2661 E-mail : machi-design@fukui-ut.ac.jp

